

主題：神の建造する働き

メッセージ 9

宮の材料

(2)

聖書：Ⅰコリント 3:12-17. Ⅱコリント 5:9-11. マルコ 14:7-8.

ガラテヤ 2:20. Ⅰペテロ 2:4-7. 啓 3:8, 12

- I. 箱を除いて（列王上 6:19）、調度品と器具の大きさと数は、幕屋から宮において大いに拡大しました（歴代下 4:1-8）。これが示しているのは、キリストご自身（箱によって表徴される）は拡大されることができなくても、すべての豊富におけるキリストに対するわたしたちの経験（宮およびその調度品と器具によって表徴される）は大いに増大され拡大されて、彼の拡大された表現に符合すべきであるということです——エペソ 3:8, 14-19. ピリピ 3:7-14. 参照、歴代上 22:14-19. 29:2-4.
- II. ダビデは神によって与えられたビジョンの中で、器の大きさだけでなくその重さも見ました。大きさと重さが表徴しているのは、召会の中でキリストに対する経験のさまざまな面と各肢体のさまざまな賜物と機能が、正しく釣り合わされ均衡がとられなければならないということです——歴代上 28:14 :
 - A. 歴代志上第 28 章 15 節にととてもすばらしい言葉があり、それは言います、「それぞれの……重さが示され、……各種の……奉仕にしたがって」。言い換えれば、宮におけるそれぞれの項目の重さは、その奉仕に符合していました——参照、列王上 6:20. エペソ 3:18.
 - B. 召会の必要は多面的であり、キリストのからだには多くの肢体と多くの機能があつて、それらの多くの必要に応じます。あらゆる器は、大きくても小さくても、不可欠な機能を持っています——4:16. Ⅰコリント 12:14-31. Ⅱコリント 10:13.
- III. わたしたちは神の宮としての召会を、正しい材料をもって建造することに注意する必要があります。キリストの裁きの座で、それぞれの人の働きは、「どんなものであるか」にしたがって証明されます。わたしたちがキリストの裁きの座で裁かれるのは、わたしたちの働きの量にしたがってではなく、質にしたがってです——Ⅰコリント 3:12-17. 雅 1:10-11. Ⅱコリント 5:9-11. 啓 3:8. マルコ 14:7-8.
- IV. 宮の主要な部分は木で造られ、金で覆われました。これは、人が神で覆われる（結合され、ミングリングされ、合併される）ことを表徴します——歴代下 3:7. 列王上 6:20-21, 30, 32, 35. 7:48-51 :
 - A. 主の回復は、神が彼の回復された民をご自身で覆うことから成っています。
 - B. 一は、三一の神の中へと深く沈み込み、わたしたちが完全に金で覆われるという事柄です。真の一の中に保たれる唯一の道は、十分な量の経験された神を持つことです——エペソ 4:3. コロサイ 2:19.
- V. 宮の祭壇、鑄物の海、洗盤は青銅で作られました :
 - A. 青銅は神の裁きを表徴します——出 27:1-8. 民 21:8-9. ヨハネ 3:14.

- B. 青銅の鑄物の海は、祭司が洗い、十二の牛がそれを支えるためでした（列王上 7:23-26. 歴代下 4:15. 出 38:8. エペソ 5:26）。十個の青銅の洗盤は、祭司たちがその中で洗うためではなく、犠牲を洗うためでした（歴代下 4:6）。
- C. 青銅の海と十個の青銅の洗盤は（2-6 節. 列王上 7:23-40）、罪を認めさせ、裁き、更新する神の霊を表徴し、彼はキリストの死に基づいて、地上で神の住まいにあずかっている者たちから、すべての消極的な事物を洗い去ります（ヨハネ 16:8. テトス 3:5. ヘブル 10:22）。

VI. 宮の柱は青銅で建てられました。これは神の裁きを表徴します——列王上 7:14-15.
啓 3:12. 21:22 :

- A. 聖書で柱は、からだの生活を実行することにおける造り変えを通しての、神の建造のしるし、証しです——創 28:22 前半. 列王上 7:15-22. ガラテヤ 2:9. I テモテ 3:15. 啓 3:12. ローマ 12:2. エペソ 4:11-12。
- B. 創世記第 28 章 18 節によれば、ヤコブは枕としていた石を取り、それを柱として立てました :
1. 石が枕になることが表徴するのは、わたしたちがキリストを主観的に経験することを通して、キリストの神聖な要素がわたしたちの存在の中へと構成し込まれることが、わたしたちの安息のための柱になるということです——マタイ 11:28-30。
 2. 枕が柱になることが表徴するのは、わたしたちが経験した、そしてその上に安息するキリストが、神の建造、神の家のための材料また支持になるということです——列王上 7:21. I テモテ 3:15。
- C. 神に役立つ人は、絶えず神の裁き（青銅）の下におり、自分が肉の中の人であり、死と葬り以外に何も値しないことを認識しています——詩 51:5. 出 4:1-9. ローマ 7:18. マタイ 3:16-17 :
1. わたしたちは自分自身を無として、ただ十字架につけられる資格があるだけであると裁かなければなりません。わたしたちは何であっても、神の恵みにより、労苦するのはわたしたちではなく、神の恵みです——I コリント 15:10. ガラテヤ 2:20. I ペテロ 5:5-7。
 2. 信者たちの間の分裂と実を結ばないこと理由は、青銅がなく、神の裁きがないことです。そうではなく、高慢、自慢、自己弁護、自己義認、自己是認、自己弁解、自己の義、人を牧養し捜すのではなく彼らを罪定めし規制することがあります——マタイ 16:24. ルカ 9:54-55。
 3. わたしたちが青銅の人としての主を愛し、彼を経験するとき（エゼキエル 40:3）、彼はわたしたちの特別な愛、無限の忍耐、比類のない忠信、絶対的なへりくだり、最高の純粋さ、至高の聖と義、わたしたちの明るさと真つすぐであることになりまます——ピリピ 4:5-8。
- D. 宮の柱の柱頭には、「格子細工の網と鎖細工の飾りひも」がありました。これらが表徴するのは、神の建造の中で柱である人たちが複雑な錯綜する状況の中で生き、責任を担っているということです——列王上 7:17. II コリント 1:12. 4:7-8。
- E. 柱頭の頂にはゆりとざくろがありました——列王上 7:18-20 :
1. ゆりが表徴するのは、神にある信仰の生活、わたしたちが何であるかによってで

はなく、神がわたしたちにとって何であるかによって生きる生活です。青銅は「わたしではない」を意味し、ゆりは「キリスト」を意味します——雅 2:1-2. マタイ 6:28, 30. II コリント 5:4. ガラテヤ 2:20.

2. 柱頭の飾りひもの上のざくろは、命としてのキリストの豊富の豊満、満ちあふれと美しさ、表現を表徴します——ピリピ 1:19-21 前半. エペソ 1:22-23. 3:19.
3. 網細工の交差することと鎖細工の抑制を通して、わたしたちは純粋で、ただ神に信頼する生活をして、命における神の建造のために、キリストの神聖な命の豊富を表現することができます。

VII. 宮の石は、造り変えにおけるキリストの人性、造り変えられたキリストを表徴します——列王上 5:15-18. 6:7, 36. 歴代上 29:2. 歴代下 3:6 :

- A. 神として、肉体と成ったキリストは人の肉体を着ました。彼は肉体の中の人、旧創造における人と成って、彼の人の部分において造り変えられる必要がありました——ローマ 1:3-4.
- B. そのような造り変えられたキリストは、今や神の建造の生ける石、土台の石、隅の石、頂石です——I ペテロ 2:4. イザヤ 28:16. I コリント 3:11. エペソ 2:20. I ペテロ 2:6. ゼカリヤ 4:7. 3:9. 啓 5:6. 4:3. 21:11.
- C. 宮の石はまた、石としてのキリストによって造り変えられた、キリストにある信者たちを表徴します——マタイ 16:18. ヨハネ 1:42. I ペテロ 2:4-7. 啓 21:11, 14, 18-21. 参照、ダニエル 2:34-35, 44-45.
- D. 新約は生ける石について語り (I ペテロ 2:5)、旧約は切られた石について語ります (列王上 5:15, 17-18. 6:7)。召会の建造のために用いられる石は、内側で生きており、外側で切られ (対処され) なければなりません (II コリント 4:16) :
 1. 召会の中で、ある兄弟姉妹は「荒い」石であり、採石場から切られたばかりであって、鋭い羽に満ちたものにたとえることができます。彼らは接触するとき、人々が傷つけられ、心地よくない感覚を持たせます。
 2. 彼らは、建造され、他の人と協力して奉仕し、他の人と共に戦い、他の人と共に箱を担ぐほどには、十分に安定していません。
 3. 宮の建造に用いられるあらゆる石は、原則において、すでに山で切られ対処されています。ですから、槌、斧、鉄の道具の音は聞こえず、宮は静かに建てられました——列王上 5:15-18. 6:7. 参照、イザヤ 30:15 前半。
 4. 召会は自己の何の「騒音」もなく建てられるべきです。わたしたちが聞くべき召会の中の唯一の音は音楽、すなわち、主を呼び求め、歓喜し、賛美し、祈り、感謝し、歌う「喜びの騒ぎ声」です——詩 100:1-5. 使徒 4:10-12. ピリピ 4:4. ヘブル 13:15. I テサロニケ 5:16-18. コロサイ 3:16-17. 歴代上 6:31-32.

VIII. 聖書はわたしたちに、七年半とおびたしい人の労苦をもって宮の建造が完了したことを告げています (列王上 6:1, 38. 5:13-16. 9:20-21)。これが示しているのは、わたしたちのキリストに対する経験が更新され、深められ、安定し、増強され、強化され、拡大されて、わたしたちがキリストのからだの実際の中へと入ることが、徐々に「日ごとに」、「少しずつ」、「ますます明るくなる」からだの中の経験であり、夜が明けて明けの明星がわたしたちの心に昇るに至るということです——II コリント 4:16.

出 23:30. 箴 4:18. II ペテロ 1:19。

© 2015 *Living Stream Ministry*